

- 大会テーマ：「伝えよう図書館の力 広げよう新たな可能性」
- 分科会テーマ：「魅力をしっかり伝える 図書館の ためPR のコツ」
- 主催：静岡県教育委員会 静岡県図書館協会 静岡県読書推進運動協議会
- 会場：静岡県コンベンションアーツセンター“グランシップ”（静岡県静岡市：JR東静岡駅隣接）
- 時間：13:45～15:45(2時間)

講演

図書館の魅力を上手に伝える

～PR（パブリックリレーションズ）による味方づくり戦略入門～

仁上幸治（図書館サービス計画研究所 代表）



概要

情報ニーズが多様化し、情報サービス提供者もユーザーに選ばれる時代になった。図書館界では、旧来の「待ちの姿勢」が招き寄せた衰退傾向は、恒例行事の多少の工夫程度では押しとどめることができなくなっている。奇跡のV字回復を図るには、広く地域社会の中で図書館と図書館員の存在感を高めていくしかない。そのためには、顕在的潜在的利用者だけでなく、親組織の首長・管理者・スタッフを含めて、地域の全構成員との友好・協力・共闘の関係をどう構築していくかという「味方づくり」の戦略的視点が必要不可欠である。この関係再構築の理論としてPR（パブリックリレーションズ）を取り上げ、「打って出る広報」の具体的な取り組みのアイデアを出し直してみる。そのための方法論としてブランディングについて、実業界の実例を紹介しながら理論的枠組みの概要をわかりやすく解説する。半年後、1年後に各館、各自の取り組み成果の報告・共有に期待する。

<目次>

・はじめに

- 【1】名刺はブランディングの入口
- 【2】味方をつくる
- 【3】コンセプトからデザインへの展開
- 【4】現場に応用する7つの極意
- 【5】発想の転換
- 【6】味方づくり戦略
- 【7】結論

* 仁上新刊のご案内

付録

- 1：参考文献
- 2：参考サイト
- 3：講師紹介： 著書・論文・講演

はじめに

クサガメ

名前はワカメ
爬虫類＝下等動物？
寝てばかり？
鈍足？

固定観念

動画
ツカミに効く
授業に使える
利用教育にも

自己紹介

仁上幸治 (にかみ・こうじ)
図書館サービス計画研究所(トサケン)代表
元・帝京大学 総合教育センター 准教授
元・早稲田大学図書館司書
非常勤講師(法政大学、亜細亜大学、東京家政大学、桜美林大学、2015年度から和光大学、玉川大学)
クサガメを室内放し飼い

過去の研修会

・2008.03.01-[講演]三島市立図書館 図書館講座 (平成19年度)「目からウロコの《超簡単》情報活用講座一人に伝える・人と繋がる・人と学ぶー」三島市立図書館
<http://tosyokan.city.mishima.shizuoka.jp/libguidecontents.html;jsessionid=E370E0EBD76AF62D14CC98BE075859E0?0&pid=447>

・2011.10.24-静岡県図書館大会 大学図書館分科会「オリエンテーションをもっと魅力的に！～すぐできる好感度アップ企画・演出術～」静岡県コンベンションアーツセンター(静岡市)

●事前課題アンケート

<http://goo.gl/forms/0nTxmjTCUa>
>>別紙

なぜ低い？

認知度
利用率
親組織内の重要度
スタッフの労働条件

どうすればいいのか？

自信がない

パソコンスキル
専門知識技能
アイデア
提案力
交渉力
政治力
気力
体力

なぜ？

習ったことがない
苦手だから
ひとり職場だから
どうせ無理

【1】名刺はブランディングの入口

名刺を持ち歩いていないか？
自分をどうやって覚えてもらうのか？
メールをもらうには？

名刺コレクション

正統派古典型
図書館画像型
ロゴマーク揺れ型
・国立国会図書館
レイアウトが微妙に揺れる型
・東京都立中央図書館
記載要素揺れ型
・QRコード
・ロゴマーク
・URL
・姓名ふりがな
・住所・電話・アドレス(位置も揺れる)

・石川県立図書館
統一テンプレート型
肩書き・要素・色は統一
姓名のアルファベット表記は微妙
横型と縦型が混在
別型バリエーションあり
・鳥取県立図書館
独自装飾型
・岡山県立図書館
書体の揺れ型
・神奈川県立図書館
各自デザイン自由型
・沖縄県立図書館
ふりがな有無型
・福井県立図書館
故郷自慢画像型
・新潟県立図書館
・三重県立図書館
・調布市立中央図書館
自分ブランディング型
・空手家図書館員
・泳ぐ図書館の司書

名刺デザインのポイント

どこかダメか？
同じ組織なのに印象がバラバラ
正統派古典型イメージは陳腐
図書館画像は古典イメージを強化
デザイン不統一は政策不在の象徴
ロゴマーク揺れ
レイアウト揺れ

不統一の原因

現物見本を参考にするだけ
確実に不統一化
共通テンプレートがないのが致命的

改善点

記載要素の固定

マーク、シンボル
QRコード
ロゴマーク
メールアドレス
ホームページ URL
姓名
姓名ふりがな
所属機関・部署
肩書
住所・電話・アドレス

レイアウトの固定

横型に統一
位置
大きさ
書体
カラー

統一とバリエーション
テンプレートは必須
バリエーションには計画性
故郷画像は季節変更もあり
自分ブランディング推奨

【2】味方をつくる

印象づけ

印象の総和
評価

図書館と図書館員のイメージ問題
図書館ブランディングの出発点
×ゼロ
▲マイナス

テレビドラマの中のステレオタイプ

どういう人物像か？
なぜそういう設定か？
事実か誤解か？

図書館員のイメージ

自己イメージ 社会的イメージ
真面目 > 親しみにくい
堅実 > 融通が利かない
博識 > 理屈っぽい
専門職 > 単純定型作業 (-"-)

伝えたい自分イメージ

1)プランナー
2)コーディネーター
3)プロデューサー
4)インストラクター
5)クリエイター
6)ファシリテーター

図書館員の味方

味方はどこに？
同僚
上司
館長
親組織

利用者

同僚

「外」系図書館員
閲覧・レファレンス部門
つながる大好き系
「内」系図書館員
目録・管理部門
つながり嫌い系

「外」系への批判

本務を疎かに
外に出たがる
イベントごと大好き
休暇宣言
来客おもてなし隊
休日も図書館めぐり

上司

面倒嫌い
新規事業嫌い
交渉事嫌い
前例主義

館長

名誉職
親組織の天下りポスト
定年直前
事なかれ主義
公募！

親組織から見た図書館

収入を生まない
生死に関わらない
お荷物
合理化対象
全面外部委託

親組織から見た図書館員

奇人集団
妙なプライド
組織行動苦手
心身変調職員の受け皿

利用者

常連固定客
馴れ合い

非利用者

図書館評価
知らない
役立たない
嫌い
行かない

内部改革者

ムラ社会の異端者排除
改革推進の抑圧
図書館訓
出る杭は熱いうちに打たれる！

敵だらけ？

避ける
減らす
ツブす
騙す
味方につける

味方はどこに？

探す？
作る！
あなたが変われば

味方づくりは自分ブランディングから

同僚に好かれる
上司に頼られる
館長に自慢される
親組織に重宝される
利用者に仲間と認められる

【3】コンセプトからデザインへの展開

マーケティング

世界で一番読まれているマーケティング教科書！
コトラー&ケラーのマーケティング・マネジメント基本編 第3版 著:フィリップ・コトラー (Philip Kotler)
ケビン・レーン・ケラー (Kevin Lane Keller)
2008年12月20日 474p. 価格:3,990円

ブランディング

ケラー, ケビン・レーン, 恩藏直人監訳『戦略的ブランド・マネジメント』第3版, 東急エージェンシー, 2010.845p, 7980円(税込)

ケラーの定義

「ブランディングは精神的な構造を創り出すこと,消費者が意思決定を単純化できるように,製品・サービスについての知識を整理すること」
「ブランディングにとっての鍵は,ある製品カテゴリー内で消費者が知覚するブランド間の差異である」

CI コーポレート・アイデンティティ

・中西元男『コーポレート・アイデンティティ戦略—デザインが企業経営を変える』誠文堂新光社, 2010.4.

Paos (中西元男)

MAZDA
カラー
開発フロー
訴求優先順位
基準・体系・要素デザイン
基本・応用・マニュアル化
ベーシックシステムデザイン
CIS (VIS) Tree
名刺・帳票
便箋・封筒
屋外看板
サイン
車両
広告
制服・名札
店舗
バッジ

NTT DoCoMo
ロゴ
NTT DoCoMo デザイン開発コンセプト

佐藤可士和

明治学院大学
今治タオル
ユニクロ
セブンイレブン
●セブンカフェ

伊東豊雄

仙台メディアテーク
新国立競技場(案)
岐阜市立中央図書館(2015年7月)

【4】現場に応用する7つの極意

ブランディングの3つのレベル

商品・サービスのブランディング
組織のブランディング
スタッフの自分ブランディング

図書館グッズ研究

図書館総合展 2007

●図書館総合展フォーラム講演会

(主催:社会福祉法人 埼玉福祉会)

【講演】

図書館グッズが利用者と館員を変える！
—イメージ戦略の先進事例—

講師 仁上幸治 (にかみ・こうじ)

■2007年11月18日(木) 10:30~12:00 (90分)

■パシフィック横浜フォーラム第3会場

旭川セミナー2009

●旭川医科大学図書館主催・旭川市図書館共催

講演会

図書館をもっと元気に!

—“グッズ”活用による新発想広報のすすめ—

講師 仁上幸治 (にかみ・こうじ)

(帝京大学総合教育センター准教授/元・早稲田大学図書館司書)

■2009年9月12日(土) 14:00-16:00 (120分)

■旭川市中央図書館 2階 視聴覚室

●図書館総合展 2009

(1)とにかくグッズを作ってみよう!

●山中湖セミナー2010

・2010.09.04-06-図書館サービス計画研究所(共催:NPO法人 地域資料デジタル化研究会)「トサケンセミナー in 山中湖 図書館ブランディングフェスタ 2010-グッズ企画開発のためのデザイン会議-」

(2)ただグッズを作ればいいってもんじゃない!

●図書館総合展 2010

・2010.11.24-図書館総合展 2010 トサケンフォーラム「今日から使える図書館ブランディングセミナー—図書館魅力再

発見計画」基調講演、パシフィコ横浜会議センター第2会場(3階302)

●図書館総合展 2011

・2011.11.11-図書館総合展トサケンフォーラム-ブランディングセミナー(2)基調講演「ブランディングはアイデンティティの明確化から」パシフィコ横浜

●図書館総合展 2012

・2012.11.21-今日から使える図書館ブランディングセミナー(3)図書館員の自分ブランディング検定
-専門職崩壊の時代にあなたの専門職イメージは何点?-
基調講演「図書館ブランディングの現在」
事例報告:
ワークショップ:図書館員の自分ブランディング検定

(3)グッズを作る前に考えるべきことがある!

事例紹介(トサケンの場合)

図書館サービス計画研究所

略称、トサケン

Since 2006.10.14

ML 会員:全国 600 名→250 名

(ホームページ) <https://sites.google.com/site/tosaken23/>

トサケン自体を例題にしたブランディング

アイデンティティ

コンセプト

デザインエレメント

マーク、シンボル、ロゴ

(4)まずコンセプトを固める!

ウチの図書館はどんな図書館?

自館の特徴は?

規模が小さい

蔵書が貧弱

スタッフ少ない

専門性に不安

実態リアリズム

ありのまま伝達主義

戦略的視点

組織・機関・部署としての図書館

個々の図書館員の地位や雇用

職業人としてのサバイバル

私のお気に入り

街のカフェ

近所のコンビニ

小さなパン屋さん

駅前の本屋さん

プラス面切り取り主義

規模が小さい

→ 小回りの利くキビキビしたサービス

蔵書が貧弱

→ 精選された蔵書構成

スタッフ少ない

→ 家族的な雰囲気、ボランティア歓迎!

専門性に不安

→ 共に学んで成長していく前向き図書館員

弱みを強みに言い換える

最寄り駅から遠く、周辺に魅力的なスポットがない。

駅から遠い。(徒歩 40 分)

死角が多い。

→ 散歩の途中に立ち寄るオトナの隠れ家

施設の老朽化

→ 歴史と伝統の落ち着いた佇まい

利用者がパソコンを使える環境がない

→ 日頃の雑事を忘れる贅沢な時間

分館に本が分散してしまっている

→ 暮らしに一番近い自分だけの書斎

トサケンのアイデンティティ

●現在のキャッチ

図書館界の知恵袋を目指す開かれたバーチャル研究所

トサケンらしさ

負けない、メゲない、

しつこい

前進あるのみ

着実な歩み。

粘り強い。

楽しい。

…となれば

象徴的なキャラクターは

カメ!!

飛ばない亀はただの亀だ!!

紅の亀

カラー

紅の赤

(燃える情熱と大人の落ち着き)

(5)グッズ作ったら実際に使ってみる!

(6)図書館全体のブランディングへ展開する!

CIS(VIS)Tree

(7)とりあえずマネしてみることから

現場に応用する7つの極意まとめ

1)とにかくグッズを作ってみよう!

2)ただグッズを作ればいいってもんじゃない!

3)グッズを作る前に考えるべきことがある!

4)まずコンセプトを固める!

5)グッズ作ったら実際に使ってみる!

6)図書館全体のブランディングへ展開する!

7)とりあえずマネしてみることから

★応用実践に向けて

1)作り直す品目

名刺

サイン

封筒

利用者カード

自動車

図書館グッズ

2)見直す必要がある視覚要素

名称・用語

ロゴマーク

キャラクター
デザインコンセプト

3)連携の仕掛け

館内一丸
域内図書館連携
類縁機関連携
地域連携
異業種連携

4)推進体制

改善マインド
改善チーム

今後の研修テーマ

キャッチコピー講座
広告レイアウト講座
パブリシティ講座
ブランディングシミュレーション講座
デザイン強化合宿講座
情報検索例題作成講座
プレゼンテーション講座
スライドショー講座
アドボカシー講座

デザインインニング研修

山中湖情報創造館(2016年予定)
合宿+ワークショップ形式
マーケティング・広告の専門家

【5】発想の転換

1) 固定観念を捨てる

発想の転換
外の世界に目を開く
異業種の人材から発想や仕事術を学ぶ
弱点を逆手に取る
自虐ネタ
スベリ芸

事例

●誰も借りてくれない本 100冊 ICU 図書館で紹介:朝日新聞デジタル

www.asahi.com/articles/ASG6K5T12G6KUTIL030.html

2)ダメモト

どうせ無理と言わない
とりあえず交渉してみる

事例

●鎌倉幸子(シャンティボランティア会)
・MULU(みちのくライブラリアン連合)での出会い

2012.01.28-MULU 茶話会

・日産自動車「車ください！」

・新宿区北図書館での偶然の再会

2013-07-14 図書館×広報×マーケティング

<http://ameblo.jp/1192-sachiko/entry-11572195358.html>

2013.8.8 ランチ@トルコ料理 ヒサル(新宿区百人町)

・鎌倉幸子『走れ！移動図書館』筑摩書房, 2014.1.

<http://www.chikumashobo.co.jp/product/9784480689108/>

・『走れ！移動図書館』発売日イベント～紀伊國屋書店を封鎖せよ』2014年1月7日(火)16:30～21:30

喫茶室ルノアール ニュー新宿3丁目店

<https://www.facebook.com/events/555305001227421/>

3)何でもあり

話題を作る
日常をイベント化する

●図書館を愛してやまない人の飲み会

第3回「ここが変だよ図書館用語」(ソフトドリンクあり)
2013.09.27@シャンティ国際ボランティア会)

●図書館愛人協会(略称)

図書館を愛してやまない人協会

図書館を愛してやまない関根夕希子さんが伊勢に行く瞬間を見送る会

2014年7月1日 19:00 - 21:50

タイ国屋台食堂 ソイナナ(西新宿)

4)街へ出る

市民講座の講師を務める

図書館活用法、データベース活用法など事例

・梅澤貴典(中央大学学事部学事課副課長)

「誰でもできる！ 知的生産のための図書館&公的データベース活用法」2014.7.26 墨田区 ひきふね図書館

<http://www.ustream.tv/channel/sumitoshopartners>

<http://hikifunetoshokanpartners.jimdo.com/講座ライブ中継/>

成果のリサイクル

市民からの評価が向上

評価の声を大学内へ逆輸入

大学図書館員の学内的評価を向上

5)「できない」と言わない

変化を嫌う図書館界の悪しき伝統

マイナス面だけをあげつらう消極的の心性事例

●新宿区立中央図書館

廃校になった中学校校舎へ移転

新館建設計画はビミョー？

Never Say Can't!

新宿区立中央図書館の玄関にある標語)

<https://www.facebook.com/koji.nikami.10/posts/522106897894406>

旧中学校の玄関のまま

6)「あるもの」活用

「ないからできない」という言訳を封印

事例

里山資本主義

・『里山資本主義』藻谷 浩介/NHK広島取材班 角川書店, 2013.7.

<http://www.kinokuniya.co.jp/f/dsg-01-9784041105122>

里山のチカラ - NHK オンライン

<http://www.nhk.or.jp/econ/channel/jp/satoyama/interview/motani01.html>

発想の転換 まとめ

1) 固定観念を捨てる

2) ダメモト

3) 何でもあり

4) 街へ出る

5) 「できない」と言わない

6) 「あるもの」活用

【6】味方づくり戦略

PR(パブリックリレーションズ)

ただの「お知らせ」ではない。
関係者を利用者に、さらに味方に変えていくこと。
世論喚起
行政側の政治的判断に影響力を持つ
利用者・支援者・後援者の結束を強化

学ぶべき教訓

味方づくりのための広報=PR活動
常日頃から
より意識的に
より積極的に

味方づくり戦略

1)強力な味方を作る

利用者とは別
理解者
協力者
参加者
支援者
協働者

2)利用者セグメントの細分化

潜在利用者
非利用者
社会活動家
企業経営者
篤志家

役所
教育委員会
大学理事会
政治家

3)対象者の「外」を攻める

潜在利用者：非利用原因の解明→原因の除去
社会活動家：協働・相互支援
大学理事会：自校教職員自慢 ライバル校事例

企業経営者：篤志家哲学(カーネギーの例)
企業経営者：社会貢献 ライバル企業事例
役所：納税者 他の先進自治体

教育委員会：自慢の種
政治家：有権者からの圧力

4)迂回逆輸入作戦

外での評判
マスコミの話題
ネットの話題

5)図書館の大胆なイメージ革新

これが図書館なの?!
これは図書館ではない!

味方づくり戦略のまとめ

- 1)強力な味方を作る
- 2)利用者セグメントの細分化
- 3)対象者の「外」を攻める
- 4)迂回逆輸入作戦
- 5)図書館の大胆なイメージ革新

【7】結論

ジリ貧状況を打開する
「打って出る広報」
関係再構築

とにかく一歩目
例えば名刺から
図書館の視覚的要素全般への展開
部分的・段階的に

地域社会に認知されるには
発想の転換
斬新なアイデア
大胆な提案

図書館ブランディングの応用実践に向けて
—成功と失敗の分かれ道を知る—

◎教訓のまとめ

図書館だけでなく図書館員自身もアピールする
マネするにもスキルが必要なら研修を企画する
アイデアが湧かないなら発想自体を転換する
簡単にいかないなら戦略を考える
まずできない理由を並べてしまう悪しき習性を捨てる
失敗を教訓に変えてめげずに何度でも挑戦する

- 1. 参考文献
- 2. 参考サイト
- 3. 講師紹介
- * 質疑応答
- * 仁上新刊のご案内
- * 参加者アンケート

●推薦文献

- 1)仁上幸治. 研究文献レビュー「図書館の「広報」は進化しているか?—説明責任と自己アピールの時代に求められる理論と実践—」『カレントアウェアネス』No.305, 2010.9, pp.16-24. CA1728:
[全文]HTML版: <http://current.ndl.go.jp/ca1728>
PDF版: <http://current.ndl.go.jp/files/ca/ca1728.pdf>

●販売図書

- 1)仁上幸治著『図書館員のためのPR実践講座—味方づくり戦略入門—』樹村房(2014年10月30日刊行)
*3部作シリーズ順次刊行予定 [出版社新刊情報]
http://www.jusonbo.co.jp/kikan_shosai/01/kikan_shosai_01_49.html

■付録1. 参考文献

●図書館利用教育ガイドライン

- ・日本図書館協会利用教育委員会編『図書館利用支援ガイドライン—図書館における情報リテラシー支援サービスのために(合冊版)』日本図書館協会, 2001.8, 81p:¥1500
- ・日本図書館協会図書館利用教育委員会編『図書館利用教育ハンドブック(大学図書館版)』日本図書館協会, 2003.3.
- ・日本図書館協会図書館利用教育委員会編『情報リテラシー教育の実践—すべての図書館で利用教育を—』(JLA 図書館実践シリーズ; 14) 日本図書館協会, 2010.3
- ・日本図書館協会図書館利用教育委員会『問いをつくるスパイラル—考えることから探究学習をはじめよう!』日本図書館協会, 2011.9.

●オリエンテーション・講習会

- ・仁上幸治「大学図書館員のためのオリエンテーション技法:印象づけを重視した構成・演出の改善の試み」『医学図書館』52(1), 2005.3, pp.15-24.
- ・仁上幸治「オリエンはエンタメだ!—素敵な印象を伝えるプレゼンテーションを—」『学図研ニュース』No.229, 2005.3.1 (特集オリエンテーション) pp.2-5.
- ・仁上幸治「文献調査法の専門分野別最先端情報の共有へ向けて—研究室内知識伝承者を養成するインストラクター講習会の試み—」『ふみくら』77, 2008.12, pp.4-5. [全文]
- ・仁上幸治「情報検索指導における良い例題・悪い例題(初級編)—素材を集め, 問題を作り, 要点を説明する方法—」, 日本図書館協会図書館利用教育委員会編『情報リテラシー教育の実践—すべての図書館で利用教育を—』(JLA 図書館実践シリーズ; 14) 日本図書館協会, 2010.3, pp.88-108.

●広報・PR

- ・私立大学図書館協会東地区部会研究部図書館サービス研究分科会広報グループ『図書館広報を考えなおす』, 1982.12.
- ・高橋昇・仲谷由香理・仁上幸治「新図書館とサインシステム計画」『早稲田大学図書館紀要』no.27, 1987.3, pp.58-90. [全文]
- ・私立大学図書館協会東地区部会研究部企画広報研究分科会『図書館広報実践ハンドブック—広報戦略の全面展開をめざして—』日本図書館協会発売, 2002.9 303p, ¥2381
- ・仁上幸治「ライブラリアンのための広報戦略マニュアル—専門性を訴求する5つのポイント—」『専門図書館』No.225 2007.9, pp.88-93.
- ・仁上幸治「図書館広報はなぜ読みにくいのか(中級編)—レイアウト改善の5つのポイント—」『館灯』47, 2009.3.31, pp.124-129.
- ・仁上幸治「図書館を見違えるほど魅力的に!—少人数職場ならではの即効変身術—」『短期大学図書館研究』No.29 (2009), pp.49-53.
- ・仁上幸治「何を誰にどう訴えればよいのか」『専門図書館』2009(5), (239), 2010.1, p.2-7.(特集図書館アピール)
- ・仁上幸治「これからの「PR」の話をしよう—いまを生き延びるための図書館経営学—」『病院図書館』30(3), 2011.5, pp.124-132. (特集「図書館のPR」)
- ・仁上幸治著『図書館員のためのPR実践講座—味方づくり戦略入門—』樹村房(★2014年10月30日刊行)

●広告

- ・谷山雅計『広告コピーってこう書くんだ!読本』宣伝会議, 2007.
- ・宣伝会議コピーライター養成講座編『最新約コピーバイブル』宣伝会議, 2007.
- ・デンツウデザインタンク編著 後藤徹 監修『新アートディレクター入門』電通, 2007.3
- ・姫路市立美術館, 凸版印刷株式会社印刷博物館編『大正レトロ・昭和モダン広告ポスターの世界:印刷技術と広告

表現の精華』国書刊行会, 2007.7

- ・眞木準『胸からジャック。:心にささる一行メッセージのつくりかた。』大和書房, 2007.7
- ・オプスキュアインク『レイアウトデザインのルール:目を引くページにはワケがある。』ワークスコーポレーション, 2008.2
- ・堀内敬一『売れる!チラシのデザインルール』グラフィック社, 2006.6
- CIとブランディング
 - ・ケビン・レーン・ケラー(恩蔵直人・亀井昭宏訳). 戦略的ブランド・マネジメント. 第3版. 東急エージェンシー出版部. 2010.
 - ・菅谷明子『未来をつくる図書館:ニューヨークからの報告』岩波書店, 2003(岩波新書 新赤版 837). 735円
 - ・中西元男『コーポレート・アイデンティティ戦略—デザインが企業経営を変える』誠文堂新光社, 2010.4.
 - ・仁上幸治「図書館の魅力は細部に宿る—「ちょっとした工夫」を超えるブランド戦略—」『ほすびたる らいぶらりあん』36(1), 2011.3, pp.8-14.

●図書館グッズ

- ・図書館サービス・ツール研究会編著『ライブラリー・グッズの調査・研究と企画・開発』(平成21年東京都図書館協会研究助成報告書), 2010.2, 33p.
- ・仁上幸治「グッズが図書館を元気にする!—暗い状況でも楽しめる最強秘密兵器—」(特集 ライブラリー・グッズ) [聞き手:鈴木正紀]『大学の図書館』426, 28(5), 2009.5, pp.70-75.
- ・仁上幸治; 中島玲子; 石川敬史「笑顔を生み出す「魔法」の戦略ツール—図書館グッズの研究・開発・普及活動—」『薬学図書館』55(2), 2010.4, pp.94-101.

●プレゼンテーション

- ・石居進『理系のためのPowerPoint「超」入門—プレゼンテーションからホームページ作成まで』(ブルーバックスCD-ROM), 講談社, 2003, ¥1,995
- ・ブルボン小林『ぐっとくる題名』中央公論新社, 2006.9(中公新書)
- ・諏訪邦夫『発表の技法—計画の立て方からパソコン利用法まで—』講談社, 1995(ブルーバックス B-1099), ¥760.
- ・中川佳子『「情報を見せる」技術』光文社新書, 2003.7 ¥850.
- ・藤沢晃治『「分かりやすい表現」の技術—意図を正しく伝えるための16のルール—』講談社, 1999.3(ブルーバックス, B-1245)
- ・藤沢晃治『「分かりやすい説明」の技術—最強のプレゼンテーション15のルール—』講談社, 2002.10(ブルーバックス, B-1387)
- ・ボブ・ボイルン『プレゼンテーション成功の秘訣13』TBSブリタニカ, 1993. ¥1300.
- ・藤沢晃治『「わかりやすい表現」の技術』講談社, 1999. ¥800. (講談社ブルーバックス B-1245)
- ・藤沢晃治『図解「伝える」技術ルール10—話して伝える, 書いて伝える, 図表で伝える』講談社, 2006.10
- ・岩永嘉弘『「行力」草思社, 2004.4

●指導法

- ・岡本浩一『上達の法則—効率のよい努力を科学する』PHP研究所, 2002.5(PHP新書)¥714
- ・多和田悟『犬と話をつけるには—駄目な犬の困った飼い主にならないために』文藝春秋, 2006.6, (文春新書)
- ・中野民夫『ワークショップ—新しい学びと創造の場—』岩波書店, 2003.04(岩波新書)
- ・畑村洋太郎『「失敗学」事件簿—あの失敗から何を学ぶか』小学館, 2006.4, ¥1300
- ・吉田新一郎『効果10倍の<教える>技術:授業から企業研修まで』PHP研究所, 2006(PHP新書)

●『情報の達人』の歴史

- ・日本図書館協会利用者教育臨時委員会「人・時間・予算の壁を破る利用者教育の強力ツール新登場」『図書館雑誌』1992.11, pp.798-799.
- ・日本図書館協会利用者教育臨時委員会「利用者教育ビデオシリーズへの熱い期待」『図書館雑誌』1993.8. 1993.8, pp.553-556.
- ・仁上幸治「情報リテラシー教育と新しい図書館員像-『新・図書館の達人』から『図書館利用教育ガイドライン』まで」『館灯』41, 2003.3, p.39-52.
- ・仁上幸治「『図書館の達人』から『情報の達人』へ-利用者教育映像教材の進化 15年の集大成」『図書館雑誌』101(4), 2007.4, pp.238-239.
- ・『情報の達人』ホームページ:
<http://www.kinokuniya.co.jp> (左メニュー下方へ入口)
- 図書館長の仕事**
- ・『ある図書館長の一日 : 市町村立図書館経営の実際』紀

- 伊國屋書店, 1998: (27分): VHS (図書館の達人; 司書実務編 pt.3; 7).
- ・ちばおさむ『図書館長の仕事: 「本のある広場」をつくった図書館長の実践記』日本図書館協会, 2008 (JLA 図書館実践シリーズ; 10).
- ・花井 裕一郎『はなぼん わくわく演出マネジメント』文屋, 2013.1.
- ・内野安彦『図書館はラビリンス - だから図書館めぐりはやめられないpart2』樹村房, 2012.11.
- ・内野安彦『だから図書館めぐりはやめられない - 元塩尻市立図書館長のアンソロジー』ほおずき書籍, 2012.6.
- ・内野安彦『図書館長論の試み-実践からの序説』樹村房, 2014.5.
- ・内野安彦『塩尻の新しい図書館を創った人たち-われら図書館応援団』ほおずき書籍, 2014.8.

■付録2. 参考サイト

【1】広告

- ・京都広告塾 編『巧告: 企画をヒットさせるために広告クリエイターたちが考えること』東京: インプレスジャパン, 2007.8 <http://www.impressjapan.jp/books/2442.php>
- ・京都広告塾 編『効告: 企画をヒットさせるために広告クリエイターたちが考えること』東京: インプレスジャパン, 2007.11 <http://www.impressjapan.jp/books/2483.php>
- ・京都広告塾 編『考告: 企画をヒットさせるために広告クリエイターたちが考えること』東京: インプレスジャパン, 2007.10 <http://www.impressjapan.jp/books/2459.php>
- ・宣伝会議: <http://www.sendenkaigi.com/>
- ・宣伝会議の教育講座:
<http://www.sendenkaigi.com/kyoiku/>

【2】広告アーカイブ

- ・新聞広告データアーカイブ:
<http://www.pressnet.or.jp/adarc/data/>
- ・動画 NOW!! CM 企業 一覧:
<http://www.doga-now.com/company/>
- ・宣伝会議: <http://www.sendenkaigi.com/>
- ・PRIR:
<http://www.sendenkaigi.com/hanbai/magazine/prir/>
- ・百式 POP*POP 広告・マーケティング カテゴリー:
<http://www.popxpop.com/archives/cat19/>

【3】デザイン

- ・服部デザイン研究所: 「THE Know-How」レイアウト能力:
http://wwwweb.jp/hdi/data/pc/dtl_lyt.html
- ・増田デザイン事務所 Masuda Design Office:
<http://www.ryuumu.co.jp/~mdo/index.html>
- ・グラフィックデザイン:
<http://www.ryuumu.co.jp/~mdo/graphic5.html>
- ・MdN: <http://www.mdn.co.jp/content/view/6/18/> または <http://www.mdn.co.jp/content/category/38/27/55/>
- ・グラフィックデザイン:
<http://www.mdn.co.jp/content/blank/89/130/>

【4】編集

- ・松岡正剛事務所 セイゴおちゃんねる:
<http://www.isis.ne.jp/seigowchannel/>
- ・編集工学研究所: <http://www.eel.co.jp/>
- ・インス編集学校: <http://es.isis.ne.jp/>
- ・松丸本舗: <http://www.matsumaru-hompo.jp/>
- ・松岡正剛の千夜千冊: <http://1000ya.isis.ne.jp/>
- ・編集の学校/文章の学校: <http://www.editorschool.jp/>
- ・～編集の現場から～ 文章上達のための練習問題:
<http://www.raichosha.co.jp/mm/sentence.html>

【5】CIとブランディング

- ・パオス: <http://www.paos.net/>
- ・佐藤可士和: <http://kashiwasato.com/>

【6】オフィスソフトを自習する

- Microsoft atLife
<http://www.microsoft.com/ja-jp/atlife/>
- TIPS(使い方ガイド)
<http://www.microsoft.com/ja-jp/atlife/tips/>
- Office (オフィス) の活用方法と Tips をご紹介
<http://www.microsoft.com/ja-jp/atlife/tips/archive/office/navi/office.aspx>
- Word
<http://www.microsoft.com/ja-jp/atlife/tips/archive/office/navi/word.aspx>
- Excel
<http://www.microsoft.com/ja-jp/atlife/tips/archive/office/navi/excel.aspx>
- PowerPoint
<http://www.microsoft.com/ja-jp/atlife/tips/archive/office/navi/powerpoint.aspx>

【7】プレゼンテーションの方法を学ぶ

- ・Presentation.jp (プレゼンテーション総合サイト):
<http://www.presentation.jp/index.html>
- ・資料作成:
http://www.presentation.jp/prjp/knowhow/siryou/trap_ppt.html
- ・高橋メソッド: <http://www.rubycolor.org/takahashi/>

■付録3. 講師紹介

- 仁上幸治 (にかみ・こうじ): 図書館サービス計画研究所 代表/元・帝京大学総合教育センター准教授/元・早稲田大学図書館司書/非常勤講師歴(法政大学・亜細亜大学・東京家政大学・桜美林大学・和光大学・玉川大学)
- ◎電子メール: nikamikoji@yahoo.co.jp
- 講演生涯合計 197 本(2015.11.3 現在) ◎ホームページ: <http://sites.google.com/site/nikamik23/>
- ◎図書館サービス計画研究所(略称トサケン): <https://sites.google.com/site/tosaken23/>
- ◎教材開発: ライブラリービデオシリーズ『情報の達人』全3巻(DVD), 紀伊國屋書店, 2007.2.

◎著書

- ・日本図書館協会図書館利用教育委員会編『図書館利用教育ガイドライン—図書館における情報リテラシー支援サービスのために(合冊版)』日本図書館協会,2001.8, 81p: ¥1500
- ・私立大学図書館協会東地区部会研究部企画広報研究分科会『図書館広報実践ハンドブック—広報戦略の全面展開をめざして—』日本図書館協会発売,2002.9 303p, ¥2381
- ・戸田光昭[他]共著『改訂 専門資料論』樹村房,2002.10(新図書館学シリーズ第8巻),¥1900
- ・日本図書館協会図書館利用教育委員会編『図書館利用教育ハンドブック(大学図書館版)』日本図書館協会,2003.3
- ・三浦逸雄, 野末俊比古(共編著)『専門資料論』新訂版, 日本図書館協会, 2010.3(菅野育子, 高橋昇, 仁上幸治共著)(JLA図書館情報学テキストシリーズ, II-8)
- ・大学導入教育研究会編『よくわかるライブデザイン入門—大学生のための必須学習術—』第二版, 古今書院, 2011.2.10. 120p.¥1900.
- ・日本図書館協会図書館利用教育委員会編『情報リテラシー教育の実践—すべての図書館で利用教育を—』(JLA 図書館実践シリーズ; 14) 日本図書館協会, 2010.3
- ・仁上幸治『図書館員のための PR 実践講座—味方づくり戦略入門—』樹村房(2014年10月30日刊行)★

◎最近の論文 *多くは著者ホームページで全文公開

- ・[研究文献レビュー]「図書館の「広報」は進化しているか?—説明責任と自己アピールの時代に求められる理論と実践—」『カレントアウェアネス』No.305, 2010.9, pp.16-24 [CA1728] HTML 版: <http://current.ndl.go.jp/cal728>
- ・情報リテラシー底上げ奮戦記—自習時間ほぼゼロ学生のための論文・プレゼン指導—『帝京大学総合教育センター論集』(2), 2011.3, pp.83-105.
- ・「図書館の魅力は細部に宿る—「ちょっとした工夫」を超えるブランド戦略—」『ほすびたる らいぶらりあん』36(1), 2011.3, pp.8-14.
- ・「図書館利用教育における「指導サービス」概念の形成—日本版ガイドラインの作成過程を中心に—」『日本図書館情報学会春季研究集会発表要綱』(2011.5.14), pp.91-94.
- ・「これからの「PR」の話をしよう—いまを生き延びるための図書館経営学—」『病院図書館』30(3), 2011.5, pp.124-132. (特集「図書館のPR」)
- ・「マルチメディアのフル活用による双方向授業の試み—スライドショー,映像教材,ファイル配布・提出,アンケートの各システムを使い切る—」『帝京大学情報処理センター年報』(13), 2011.3.31, pp.77-91.(実刊行日:2011.7.25)
- ・「図書館利用教育における「指導サービス」概念の射程—情報リテラシー教育という枠組みの可能性と限界—」『日本図書館情報学会秋季研究集会発表要綱』(2011.11.12), pp.53-56.
- ・「学校図書館のブランディング戦略—評価されるためにギリギリまで工夫を!—」『学図研ニュース』No.326, 2013.4.1, pp.2-6.
- ・「図書館長のための自分ブランディング講座—内外に味方を増やすキャラクターの作り方—」全国公共図書館協議会研究集会講演録(2013.06.28-東京都立中央図書館)
- ・「情報リテラシー教育を担う小中学校教員をいかに養成するか—教職志望学生の徹底改造を目指す司書教諭科目からの提言—」『帝京大学総合教育センター論集』(5), 2013, 2014.3, pp.69-93.
- ・「忙しい図書館員のためのPC使い倒し「超」実用講座—省力効果絶大な便利技をマスターしよう!—」『短期大学図

- 書館研究』33, 2014.3, pp.107-122.(CD-ROM版あり)(2013.08.23-24-九州地区私立短期大学図書館協議会研修会/精華女子短期大学)
- ・「情報メディアは作ってみればわかる—メディアリテラシー指導のプロ教師を育てる授業の工夫—」『帝京大学情報処理センター年報』(16), 2013, 2014.3.31(7.26刊行), pp.95-109.
- ・「驚くほど学生が集まる図書館演出術—少人数職場だからこそ今すぐできる即効アイデア—」『私立大学図書館協会中国・四国地区研究会報告書』第44回(2014年), pp.4-78.
- ・「指導場面での演出力はこれでいいか—教える側の情報リテラシーを問い直す—」『館灯』53号, 47-65, 2015-03-31

◎最近の講演(2014-)

- ・2014.07.30-神奈川県教育委員会学校図書館ブランディング論研修講座「学校司書のためのブランディング入門—イメージ革新のための劇的ビフォーアフター」神奈川県立神奈川県総合高等学校 多目的ホール(神奈川県横浜市)
 - ・2014.08.13-MULU5 周年記念定例茶話会第50回「24時間茶話会 MULU は地球(みちのく)を救う!—今日日はまるごと図書館三昧—」講演「お疲れライブライオン講座 即効! 元気回復! PR・ブランディング・広報のソゴ技を一挙に紹介します!」東北大学川内キャンパス
 - ・2014.09.04-05-私立大学図書館協会 中国四国地区協議会研究会「驚くほど学生が集まる図書館演出術—少人数職場だからこそ今すぐできる即効アイデア—」山陽学園大学図書館(岡山市)
 - ・2014.09.11-12-私立大学図書館協会 東海地区協議会実務担当者研修会「指導場面での演出力はこれでいいか—教える側の情報リテラシーを問い直す—」名古屋学院大学名古屋キャンパス白鳥学舎(名古屋市)
 - ・2014.10.10-千葉県「課題解決支援サービス研修会」千葉県立西部図書館
 - ・2014.11.01-全国図書館大会 図書館利用教育分科会「図書館利用教育の実践力の今—委員会創設25周年、次に向けての展望を開く」基調講演「図書館利用教育はどこまで進化したか」明治大学駿河台キャンパス(東京)
 - ・2014.11.05-図書館総合展フォーラム: 図書館サービス計画研究所(略称図サ研)主催: 今日から使える図書館ブランディングセミナー(4)「味方づくり戦略入門」基調講演: 11月5日(水)13:00~14:30 パシフィコ横浜フォーラム第7会場
 - ・2014.11.18-沖縄県図書館協会研修会講演「図書館ブランディング入門」沖縄県立図書館(沖縄県那覇市)
 - ・2014.12.07-『図書館員のためのPR実践講座』(樹村房)出版記念会「ニカミズム ARISE—愛と怒りの極私的自著伝—」東京理科大学 葛飾新キャンパス 図書館
 - ・2014.12.10-文部科学省主催東海・北陸地区図書館地区別研修: 講義と演習「図書館をPRする」石川県立図書館(石川県金沢市)
 - ・2014.12.18-私大図協企画広報研究分科会月例会 講演(2)「図書館に来ない学生をいかに図書館に呼び込むか?」明治大学中央図書館
- ### 2015
- 1) 2015.02.01-『図書館員のためのPR 実践講座』出版記念会 2 in 大阪「ニカミズム ARISE—愛と怒りの極私的自著伝—」レストラン プラザ・フォーティーン(大阪歯科大学附属病院 14階) 15:00~19:00(開場 14:30)(大阪市) [案内]報告]
 - 2) 2015.02.09-『図書館員のためのPR 実践講座』出版記念会 3 in 千葉「ニカミズム ARISE—愛と怒りの極私的自著伝—」(近くて遠い?! 山武ツアー: 第二日)さんぶの森図書館(千葉県山武市)

- 3) 2015.02.28-紀伊國屋書店・日本アスペクトコア 業務スタッフ研修「一歩が踏み出せない図書館員のための味方づくり戦略入門講座」紀伊國屋書店本社(東京都目黒区)
- 4) 2015.03.03-『図書館員のための PR 実践講座』出版記念会 4 in 東京(2)帝京大学図書館課程履修生懇親会「ニカミズム ARISE-愛と怒りの極私的自著伝-」図書館サービス計画研究所(東京都新宿区)
- 5) 2015.03.17-新宿区立中央図書館 館員研修「パスファインダー超簡単講座-基礎を学び、必要なラインナップを考える-」新宿区立中央図書館 大会議室(東京都新宿区) [報告]
- ・2015.06.08-『図書館員のための PR 実践講座』出版記念会 5 in 名古屋「ニカミズム ARISE-愛と怒りの極私的自著伝-」:大図研愛知支部+東海ライブラリアンおもてなし隊主催 愛知大学名古屋図書館(延期決定 5/8)
- 6) 2015.06.09-KLL(関西ライブラリアンリンク)企画】仁上幸治さんと語る交流会「映像の中のトンデモ図書館員たち-図書館ブランディング講座番外編-」『図書館員のための PR 実践講座』増刷記念講演会+交流会 Biz Library (ビズライブラリー)(大阪駅前)
- 7) 2015.06.10-トショカン・ヨコの会 定例会『図書館員のための PR 実践講座』出版記念会 5 in 岡山「ニカミズム ARISE-愛と怒りの極私的自著伝-」図書館ヨコの会(岡山県岡山市)
- 8) 2015.06.12-長崎県立大学図書館協議会研修会『図書館員のための PR 実践講座』出版記念会 6 in 長崎「図書館員のための PR 実践講座-味方づくり戦略入門-」長崎大学附属図書館(長崎県長崎市)
- 9) 2015.06.13-『図書館員のための PR 実践講座』出版記念会 7 in 熊本「ニカミズム ARISE-愛と怒りの極私的自著伝-」BUNZO(熊本県熊本市)
- 10) 2015.06.13-14-大学図書館問題研究会 福岡支部 特別企画(3):「潜在ユーザー発掘大作戦は終わらない!!-ハードコア・ノンユーザーのつかんだ心を離さない図書館ブランディング-」(1日目)熊本大学附属図書館中央館・(2日目)くまもと県民交流館パレア(熊本県熊本市)
- 11) 2015.06.17-TRC スタッフ研修 1「打って出る広報」が図書館を救う!-ジリ貧状況を打開する関係再構築の方法-」TRC本社(東京都文京区)
- 12) 2015.07.10-世田谷区立図書館職員研修「図書館員のためのPR実践講座-ジリ貧状況を打開する地域ぐるみの関係再構築に向けて(その1「サイン計画を見直す」)世田谷区立中央図書館(東京都世田谷区)
- 13) 2015.07.25-日赤図書室協議会研修会「ひとり職場の有利さを活かす:決断と実行は自分次第!」日赤会館(東京都港区) [報告]
- 14) 2015.07.29-神奈川県学校図書館経営論研修講座「学校司書のためのブランディング講座(発展・実践編)~専門職サバイバルのための地域連携作戦の立案と実行~」神奈川県立神奈川総合産業高等学校 視聴覚室(神奈川県相模原市)[報告]
- 15) 2015.08.07-北海道地区大学図書館職員研究集会「生き残りたい図書館員は味方を増やす-情報リテラシー教育への直接貢献を核とするブランディング戦略-」小樽商科大学(北海道小樽市)[報告]
- 16) 2015.08.08-私立短期大学図書館協会北海道地区協議会研修会「図書館をPRする~双方向性コミュニケーションの関係づくり実践法~」北海道武蔵女子短期大学(札幌市)
- 17) 2015.08.08-『図書館員のための PR 実践講座』出版記念会 8 in 札幌 & 情報交換会 北海道武蔵女子短期大学(札幌市)
- 18) 2015.08.19-世田谷区立図書館館長研修「「らしさ」を訴求するPR-図書館を核とする地域ぐるみの区民関係再構築-」世田谷区立中央図書館(東京都世田谷区)世田谷区立中央図書館(東京都世田谷区)
- 19) 2015.08.24-福岡県立図書館青少年読書推進講座「子どもたちの居場所になる図書館をつくる~どう図書館をPRしていくか~」福岡県立図書館(福岡県福岡市)[報告]
- 20) 2015.08.26-西日本図書館学会長崎県支部研修会「図書館ブランディング入門講座」長崎市立図書館 新興善ホ

- ール 洋会議室(長崎県長崎市)
- 21) 2015.09.04-私立大学図書館協会西地区部会阪神地区協議会研究会「今、あらためて大学図書館職員の働き甲斐を問う」大学図書館職員の栄光と苦悩-内面を支える秘かな愉しみ-」梅花女子大学山草館(F棟)601 教室(大阪府茨木市) [報告]
- 22) 2015.09.29-図書館パートナーズ「図書館員のためのファシリテーション実践講座:PR編」日比谷図書文化館(東京都千代田区) [案内]
- 23) 2015.10.02-長野県立高校学校司書研修会「高校司書のためのPR実践講座-魅力訴求作戦の全面展開に向けて-」長野県県庁講堂(長野県長野市)
- 24) 2015.10.03-長野県図書館協会大学専門図書館部会図書館研究会 研修会「ビジュアルデザインの質を上げる」講演「図書館員のための PR 実践講座-情報は見た目が9割-」県立長野図書館 会議室(長野県長野市) [案内]
- 25) 2015.11.02a-九州女子大学授業(矢崎美香先生)ゲスト講演 1「情報資源組織演習II」(北九州市)
- 26) 2015.11.02b-九州女子大学授業(矢崎美香先生)ゲスト講演 2「情報サービス論」(福岡県北九州市)
- 27) 2015.11.02c-日本施設協会・図書館流通センター共同企業体 図書館ブランディング実践研修「図書館のブランディングの応用実践に向けて~成功と失敗の分かれ道を知る~」北九州市立八幡西図書館 1階 セミナールーム(福岡県北九州市)
- 28) 2015.11.03-大学図書館問題研究会 福岡支部「プチャイブランディング披露!+ 教えて仁上さん-「映像の中のトンデモ図書館員たち」を見てブランディングを考える-」佐賀大学附属図書館(本庄キャンパス)(佐賀県佐賀市)

2015年11月まで合計 197本

◎講演予定

- 29) 2015.11.09-静岡県図書館大会「図書館サービス」分科会「図書館の魅力を上手に伝える-PR(パブリックリレーションズ)による味方づくり戦略入門-」静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」(静岡県静岡市)
- 30) 2015.11.10(火) 10:00-11:30-図書館総合展フォーラム日経 BP「利用者が増える!学生が伸びる!大学図書館のPR術&成果につながる図書館リソースの活用事例~学修・就活支援と情報リテラシーの向上につながる専門記事データベースの活用~」パシフィック横浜フォーラム第5会場(アネックス 205)(神奈川県横浜市)[案内]
- 31) 2015.11.12(木) 10:00-11:30-図書館総合展フォーラム図書館パートナーズ「図書館員のためのファシリテーション実践講座-市民の図書館認知度を格段に上げる手法-」パシフィック横浜フォーラム第1会場(アネックスホール 201)(神奈川県横浜市)[案内] ★講演通産 200本目★
- 32) 2015.11.20-TRC スタッフ研修 2「打って出る広報」が図書館を救う!-ジリ貧状況を打開する関係再構築の方法-」TRC本社(東京都文京区)
- 33) 2015.11.26-文部科学省 図書館地区別研修(北日本地区)「図書館ブランディング入門-逆風の中で存在感を高める地域内連携作戦づくり-」(仮題)、主催:北海道立図書館、会場:札幌市中央図書館(北海道札幌市)
- 34) 2015.11.27-北海道大学図書館職員研修「図書館員のための PR 実践講座-外堀を埋めながら本丸を攻める-」(仮題)北海道大学図書館(北海道札幌市)

2016年

- 1) 2016.01.13-千葉県公共図書館協会 ホームページを改善する(仮題)浦安市立中央図書館(千葉県浦安市)
- 2) 2016.01.21-文部科学省 図書館地区別研修(近畿地区)「図書館ブランディング入門-味方を増やす地域戦略-」兵庫県立図書館(兵庫県明石市)
- 3) 2016.02.26-長岡市立図書館職員研修 パスファインダー入門講座(仮題)(新潟県長岡市)
- 4) 2016.03.05-紀伊國屋書店・日本アスペクトコア 業務スタッフ研修(調整中)紀伊國屋書店本社(東京都目黒区)

(にかみ・こうじ/配付資料/2015.11.8 作成) ■□■